



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 高千穂交易株式会社  
 コード番号 2676 URL <http://www.takachiho-kk.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 植松 昌澄  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3355-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	3,981	7.9	50		8		33	
30年3月期第1四半期	4,320	7.5	16		1		36	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 94百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 32百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	3.60	
30年3月期第1四半期	3.89	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	17,954	13,758	76.6	1,470.36
30年3月期	18,566	13,958	75.1	1,492.86

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 13,749百万円 30年3月期 13,948百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		12.00		12.00	24.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,700	3.0	260	22.9	260	2.8	150	21.4	16.04
通期	22,500	15.0	1,200	80.8	1,200	69.8	800	511.2	85.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	10,171,800 株	30年3月期	10,171,800 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	820,490 株	30年3月期	827,990 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	9,346,942 株	30年3月期1Q	9,337,843 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
販売実績	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや設備投資の増加傾向、雇用・所得環境の改善による個人消費の伸びなどを背景に緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、雇用・所得環境改善の傾向が続くなかで、各種経済対策の効果などにより、緩やかに回復していくことが期待されているものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や英国のEU離脱問題、米国の経済政策運営など、海外情勢について留意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にあります。新たな成長を見据え独自の付加価値強化による収益性の向上及びアジアを中心とした成長市場への進出によりグローバルビジネスの拡大を図っております。

具体的には、システムセグメントでは、主要商品である商品監視システムや入退室管理システムの付加価値強化、RFIDシステム、リテールソリューション、クラウド型無線LAN等の新たな市場開拓、またタイ及びASEAN諸国において展開する高度防火システム事業の拡大を図っております。

他方、デバイスセグメントでは、電子事業においては主に通信インフラ分野での拡販や各種半導体を使用した独自の基板設計などの付加価値強化、また産機事業では従来のATM向け機構部品に加え、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、国内外における自動車内装部品市場の開拓などに注力しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、デバイスセグメントは前年同期並みに推移しましたが、システムセグメントが前年同期と比べて減少したことから、売上高は前年同期比7.9%減の39億81百万円となりました。

損益につきましては、売上総利益率の改善やコスト削減に努めたものの、売上高減少の影響をカバーするには至らず、営業利益は前年同期と比較して33百万円減少し、50百万円の損失となりました。経常利益は為替差益29百万円を計上しましたが、前年同期と比較して9百万円減少し、8百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比較して2百万円増加し、33百万円の損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (システムセグメント)

システムセグメントの売上高は、前年同期比13.8%減の22億99百万円、営業利益は、前年同期と比べて63百万円減少し、41百万円の損失となりました。

セキュリティ商品類では、働き方改革支援につながる入退室管理システムなどの販売が堅調に推移した一方で、ディスプレイセキュリティシステムが伸び悩み、また、タイの高度防火システム販売において、大型受注を獲得したものの、売上計上には至らなかったことなどから、売上高は前年同期比19.3%減の13億66百万円となりました。

その他ソリューション商品類は、クラウド型無線LANの販売が堅調に推移した一方で、RFIDタグの販売が前年同期に比べて減少したことなどから、売上高は前年同期比2.7%減の3億27百万円となりました。

カスタム・サービス商品類は、セキュリティ商品類及びその他ソリューション商品類の販売が減少したことに伴い設置料収入や保守収入が減少したことなどから、売上高は前年同期比5.4%減の6億5百万円となりました。

## (デバイスセグメント)

デバイスセグメントの売上高は、前年同期比1.8%増の16億81百万円、営業利益は前年同期と比べて31百万円増加し、6百万円の損失となりました。

電子商品類では、オートモーティブ市場向け電子部品の販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期比3.5%増の6億95百万円となりました。

産機商品類では、住宅設備向けやATM以外の自動機向け機構部品の販売が堅調に推移したものの、前年同期とほぼ横ばいとなり、売上高は前年同期比0.7%増の9億86百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ6億11百万円減少し、179億54百万円となりました。これは現金及び預金が3億30百万円、商品及び製品が2億58百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が11億71百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ4億12百万円減少し、41億95百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が2億49百万円、未払法人税等が1億58百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ1億99百万円減少し、137億58百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失33百万円や配当金の支払1億12百万円などにより、利益剰余金が1億45百万円減少したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から1.5ポイント上昇し、76.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月9日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,169	6,499
受取手形及び売掛金	6,277	5,106
商品及び製品	2,416	2,674
原材料	107	160
その他	587	597
貸倒引当金	△18	△17
流動資産合計	15,540	15,021
固定資産		
有形固定資産	302	287
無形固定資産		
のれん	659	611
その他	70	79
無形固定資産合計	729	691
投資その他の資産		
投資有価証券	1,238	1,250
その他	755	703
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,993	1,954
固定資産合計	3,025	2,933
資産合計	18,566	17,954

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,640	2,390
未払法人税等	188	29
賞与引当金	245	148
役員賞与引当金	10	6
その他	802	951
流動負債合計	3,887	3,526
固定負債		
退職給付に係る負債	658	633
その他	61	36
固定負債合計	719	669
負債合計	4,607	4,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,209	1,209
資本剰余金	1,171	1,171
利益剰余金	12,144	11,998
自己株式	△777	△770
株主資本合計	13,746	13,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	347
為替換算調整勘定	△119	△189
退職給付に係る調整累計額	△17	△16
その他の包括利益累計額合計	202	140
新株予約権	9	8
非支配株主持分	0	0
純資産合計	13,958	13,758
負債純資産合計	18,566	17,954

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,320	3,981
売上原価	3,242	2,976
売上総利益	1,078	1,004
販売費及び一般管理費	1,094	1,054
営業損失(△)	△16	△50
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	9
為替差益	1	29
持分法による投資利益	0	1
償却債権取立益	5	—
その他	3	3
営業外収益合計	18	43
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益又は経常損失(△)	1	△8
特別損失		
固定資産除却損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	0	△8
法人税、住民税及び事業税	7	0
法人税等調整額	28	24
法人税等合計	36	25
四半期純損失(△)	△36	△33
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△36	△33

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△36	△33
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62	7
為替換算調整勘定	5	△69
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	68	△61
四半期包括利益	32	△94
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32	△94



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,669	1,651	4,320	—	4,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,669	1,651	4,320	—	4,320
セグメント利益又は損失(△)	21	△38	△17	0	△16

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システム	デバイス	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,299	1,681	3,981	—	3,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,299	1,681	3,981	—	3,981
セグメント損失(△)	△41	△6	△48	△1	△50

(注) 1. セグメント損失の調整額△1百万円は、連結調整額であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 販売実績

(単位：百万円)

区分	前四半期 (平成30年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成31年3月期 第1四半期)
セキュリティ商品類	1,692	1,366
その他ソリューション商品類	336	327
カスタマ・サービス商品類	640	605
システム 計	2,669	2,299
電子商品類	671	695
産機商品類	979	986
デバイス 計	1,651	1,681
計	4,320	3,981